平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104690	**スポーツ大会・合宿誘致推進事業**

総合計画	分野	人づくり	
	政策	3-4	スポーツの振興
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催

目的 スポーツ大会・合宿誘致に向けた支援を行う。

対象 はなまきスポーツコンベンションビューロー、花巻市体育協会

意図 交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。

事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること

①はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出
②スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付
③スポーツ合宿支援事業補助金の交付

市民参画の有無 〔 〕

市民協働の形態			
	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定
	後援・協賛	補助・助成	委託

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	**全国規模のスポーツ大会誘致件数**	件	計画	6	6	
			実績	15	4	
②	**スポーツ合宿誘致件数**	件	計画	6	6	
			実績	4	4	
③			計画			
			実績			

	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	**大規模スポーツ大会・イベントの入込者数**	人	目標	275,000	192,000	
			実績	265,275	116,742	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

成果指標の達成度						
		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析
（新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）

昨年より148,533人の減少となった。要因としては、国体へ向けてのリハーサル大会開催や国体開催までは概ね目標どおりであったが、国体開催翌年ということもあり、大規模大会が大幅に減ったことにより目標値を下回った。スポーツ大会及び合宿は最低でも実施年の前年度、前々年度に決定することが多いが、国体開催の影響からか決定していただく件数が少なかったといえる。

		選択	項目	説明
目的妥当性	**公共関与の妥当性**	○	妥当である	平成29年度に策定された花巻市スポーツ推進計画（H29～H35）の基本目標の一つに大規模スポーツ大会の開催を掲げており、スポーツ施設や温泉施設の有効活用、交流人口による地域経済の活性化を目指し、大規模スポーツ大会・合宿誘致を推進するため「はなまきスポーツコンベンションビューロー」を設立し、取り組んでいることから妥当である。
			見直し余地がある	
			妥当でない	
有効性	**成果の向上余地**	○	向上余地がある	国体開催後の大規模大会・合宿誘致に向け、平成28年度からスポーツ合宿支援事業補助金制度をつくり、誘致に努めており、今後成果が見込める。
			向上余地がない	
効率性	**事業費・人件費の削減余地**		事業費の削減余地がある	大規模スポーツ大会・合宿誘致を「はなまきスポーツコンベンションビューロー」と連携した取り組みにより、最低限の事業費、人件費で事業を展開している。
			人件費の削減余地がある	
		○	どちらも削減余地がない	
公平性	**受益と負担の適正化余地**		受益機会の見直し余地がある	はなまきスポーツコンベンションビューローへの負担金は、事業費に充てられており、必要最低限の事業内容となっている。
			費用負担の見直し余地がある	
		○	適正である	

総合評価 …上記評価結果の総括

交流人口の拡大や地域経済への効果、競技力の向上を図るため、はなまきスポーツコンベンションビューローを設置し、インターネット等による情報発信や各種大会の誘致、開催支援を行った。平成28年度からは、国体開催後の大規模スポーツ大会・合宿の誘致をさらに推進するため、スポーツ合宿支援事業として、関東圏から合宿に来る大学等への交通費、宿泊費の補助を実施している。　　大規模スポーツ大会・イベントの入込者数は、目標値を下回ったが、国体開催翌年の落ち込みは想定されていた。全国大会の誘致については、２～３年以上前、合宿の誘致についても１年前ぐらいに決定されることがほとんどであり、旅行会社との情報共有や県南市町村等広域的な誘致活動など人的ネットワークや合宿支援事業補助金などを活用し、今後のスポーツ大会・合宿誘致を図りたい。

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	06	01	104690	**スポーツ大会･合宿誘致推進事業**

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,868	6,420		552
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,868	6,420		552

※特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返		期間限定 〔平成 年度 ～ 平成 年度〕

部重点施策における目標

スポーツの振興を図ります

事業開始の背景・経緯

全国的に「スポーツツーリズム」を推進しており、その先駆けとして、平成22年度（H23-3）に、はなまきスポーツコンベンションビューローを立ち上げ、交通条件やスポーツ施設の優位性を活かし、スポーツ大会や合宿等の誘致を行ってきた。

事業概要

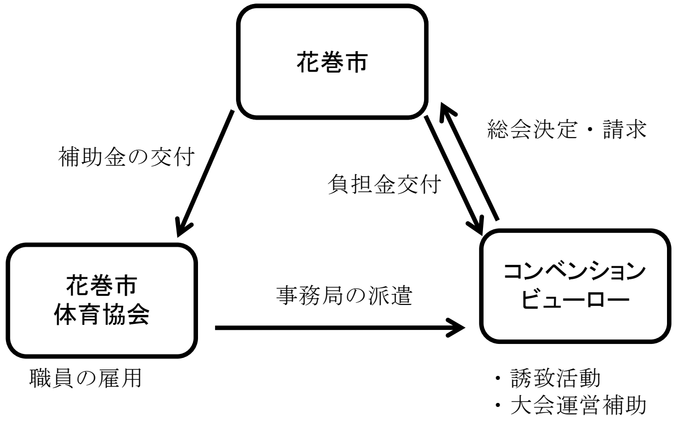
①はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出
②スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付
③スポーツ合宿支援事業補助金の交付

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

● はなまきスポーツコンベンションビューロー



①スポーツコンベンションビューロー負担金 1,960千円（前年度比 +490千円）
大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の拡大、スポーツに接する機会を提供する。

主な活動内容

○情報発信：ホームページ、フェイスブックの活用、スポーツ大会情報掲載 59件 ○誘致活動：旅行会社訪問13社、旅行会社及び大学現地調査招待2社5団体、台湾スポーツ選手誘致2名 ○支援活動：スポーツ大会開催支援（宿泊、弁当の手配）4事業、合宿支援（宿泊施設弁当業者の紹介等）3事業

対象経費2,518－会費等558＝負担金1,960

報償費 615（旅行エージェント等来花記念品、合宿団体物産提供等）
旅費 1,296（旅行エージェント招待、首都圏誘致活動等
需用費 227（印刷製本費、消耗品費等）
役務費 41（通信運搬費）
賃借料 108（招待者タクシー代）
委託料 51（ＨＰ管理、誘致大会歓迎看板等）
負担金 180（体育協会事務負担）

②スポーツ合宿補助金 282千円
対象：県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿
補助額：交通費20,000円～50,000円（距離に応じる）、宿泊費500円（1人1泊）
※上限 1団体400千円 実績：東京大学スケート部アイスホッケー部門 282,000円

③スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 4,178千円（前年度比△35）
コンベンションビューロ事務局職員人件費（２名分）

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104730	**第5回東アジアU－22ハンドボール選手権開催事業**

総合計画	分野	人づくり	
	政策	3-4	スポーツの振興
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催

目的：スポーツ大会・合宿誘致に向けた支援を行う。

対象：公益財団日本ハンドボール協会

意図：交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。

事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること

◎第5回東アジアU－22ハンドボール選手権の開催

市民参画の有無 〔 対象外 〕

市民協働の形態						
	○	共催		実行委員会・協議会	○	事業協力・協定
		後援・協賛	○	補助・助成		委託

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	**出場チーム数**	チーム	計画		10	
			実績		10	
②	**観客数**	人	計画		6,000	
			実績		10,438	
③			計画			
			実績			

	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析
（新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）

目的妥当性	**公共関与の妥当性**		高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設などの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、交流人口の一層の拡大を図ることができる。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	**成果の向上余地**		公益財団法人日本ハンドボール協会及び岩手県ハンドボール協会と連携し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ることができる。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	**事業費・人件費の削減余地**		花巻初の国際大会（大規模スポーツ大会）として誘致できた大会である。 競技団体等との連携のもと、事業費も節減し、少人数での運営に努めている。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	**受益と負担の適正化余地**		花巻市の地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、一層の交流人口の一層の拡大を図ることができる。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	

総合評価 …上記評価結果の総括

交流人口の拡大や地域経済への効果、競技力の向上を図るため、はなまきスポーツコンベンションビューローを設置し、インターネット等による情報発信や各種大会の誘致、開催支援を行った結果、大規模スポーツ大会・イベントの入込者数が２０万人を超えるなど成果があった。

全国大会の誘致については、２～３年以上前に決定されることがほとんどであり、旅行会社との情報共有や県南市町村等広域的な誘致活動など人的ネットワークをフルに活用し、国体以降のさらなる誘致が必要となる。

特に、今回の大会は、希望郷いわて国体のレガシー大会として、花巻初の国際大会（大規模スポーツ大会）として誘致できた大会である。

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 高橋宏明 内線 293

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	06	01	104730	**第5回東アジアU－22ハンドボール選手権開催事業**

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			7,061		7,061
財源内訳	国・県		1,877		1,877
	地方債				
	その他				
	一般財源		5,184		5,184

※特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	〔平成 29 年度 ～ 平成 年度〕

部重点施策における目標

スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

希望郷いわて国体開催時に、日本ハンドボール協会から大会開催についての打診があり、岩手県ハンドボール協会において開催についての協議を行った結果、本市を会場に大会開催が決定した。

事業概要

◎第5回東アジアＵ－22ハンドボール選手権の開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

◎第5回東アジアＵ－22ハンドボール選手権　大会概要

主催　　東アジアハンドボール連盟（７か国加盟）

共催・主管　　公益財団法人日本ハンドボール協会、岩手県ハンドボール協会、花巻市

開催場所　　花巻市総合体育館　第３アリーナ（アネックス）

出場チーム（○は、最終順位）
男子　①日本、②韓国、③ﾁｬｲﾆｰｽﾞﾀｲﾍﾟｲ、④中国、⑤香港
女子　①韓国、②中国、③日本、④ﾁｬｲﾆｰｽﾞﾀｲﾍﾟｲ、⑤香港

観客数　　延べ10,438名（大会期間中。うち学校観戦　2,796名）

大会日程

６月24日（土）	会場準備
６月25日（日）	会場準備、ｳｪﾙｶﾑﾊﾟｰﾃｨｰ
６月26日（月）	ﾃｸﾆｶﾙﾐｰﾃｨﾝｸﾞ、大会１日目（２試合）
６月27日（火）	大会２日目（４試合）
６月28日（水）	大会３日目（４試合）
６月29日（木）	休息日
６月30日（金）	大会４日目（４試合）
７月１日（土）	大会５日目（４試合）
７月２日（日）	大会６日目（２試合）、ﾌｪｱｳｪﾙﾊﾟｰﾃｨｰ

事業費内訳

	金額	内容
旅費	88	打ち合わせ、協会研修
需用費	300	競技・運営用消耗品等
委託料	3,673	学校観戦、歓迎用看板等
補助金	3,000	大会開催補助金（日本ハンドボール協会へ）
計	7,061	

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	06	02	104740	**スポーツ施設環境整備事業**

総合計画	分野	人づくり	
	政策	3-4	スポーツの振興
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催

目的	スポーツ施設環境整備を行う。
対象	市民
意図	快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会等に備える。

事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること

〇スポーツ施設改修・整備
- ・市民プール　塗装工事、ろ過装置改修工事（各設計含む）
ピット内配管修繕
- ・日居城野運動公園　スケートボード場コンクリート舗装
陸上競技場公認改修
- ・スポーツキャンプむら　人工芝公認更新整備
- ・各種施設の高圧気中開閉器等交換業務（総合体育館、花巻球場、市民体育館、石鳥谷アイス
アリーナ）
- ・その他スポーツ施設の整備補修
- ・スポーツ施設備品整備

市民参画の有無 〔 〕

市民協働の形態			
	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定
	後援・協賛	補助・助成	委託

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	**施設整備件数**	件	計画	3	2	
			実績	1	11	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			

	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	**施設利用者数**	人	目標	750,000	750,000	
			実績	732,788	702,980	
②		人	目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

成果指標の達成度						
		目標値より高い	〇	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析
（新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）

施設利用者数については、国体開催（平成２８年度）の次年度ということもあり若干微減ではあったが、おおむね目標値どおりの利用者数となった。
今後おいても大規模大会の開催や合宿を誘致するとともに各種大会に参加する市民等を考慮するために施設の環境整備を積極的に行い、施設利用者が前年度の計画どおり推移することを目標とする。

評価	項目	選択	選択肢	説明
目的妥当性	**公共関与の妥当性**	〇	妥当である	多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。今後においても、各種大会等の開催に向けて必要な公共の施設整備は必要である。
			見直し余地がある	
			妥当でない	
有効性	**成果の向上余地**	〇	向上余地がある	利用者アンケートを反映させることにより、市民ニーズにマッチした施設整備を図ることによって、市民がよりスポーツを行う機会の増加を図れる。また、大規模大会を開催できる施設を整備することによって、今後も市外からの施設利用者が増加し、交流人口の拡大が図られるなど、成果向上の余地はある。
			向上余地がない	
効率性	**事業費・人件費の削減余地**		事業費の削減余地がある	施設の利用状況に応じて必要最小限の整備を行なっているが、大規模大会等を誘致できる施設整備するためには、最大限の整備も必要となる。よって、事業費削減の余地はないものである。
			人件費の削減余地がある	
		〇	どちらも削減余地がない	
公平性	**受益と負担の適正化余地**		受益機会の見直し余地がある	市民等が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要があり、相応の受益は必要である。また、大規模大会等の会場地として競技会場の整備を行う必要がある。よって、市民等からの受益も整備費の負担も適正である。
			費用負担の見直し余地がある	
		〇	適正である	

総合評価 …上記評価結果の総括

平成29年度は、市民プールの改修、陸上競技場公認に係る改修、スポーツキャンプむら人工芝公認更新などの整備を図った。
他にも、通常の維持管理、耐用年数が経過した高圧機器の取替、市民要望等に関連した整備を行った。
今後も、競技団体や利用者の声を反映する形で整備を図る。

別紙1

2018/10/1

平成 29 年度 事業説明資料　　【 事後評価 】

担当部署　部名 生涯学習部　課名 スポーツ振興課　担当係長　阿部　内線 292

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

（単位：千円）

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	06	02	104740	**スポーツ施設環境整備事業**

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		42,127	72,563		30,436
財源内訳	国・県				0
	地方債				0
	その他		4,523		4,523
	一般財源	42,127	68,040	0	25,913

※特定財源の内訳

ふるさと納税：4,523千円

事業期間		単年度繰返		期間限定 〔平成　　年度　～　平成　　年度〕

部重点施策における目標

スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

　スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修や整備を図る必要がある。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果の向上を図るため、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致を積極的に行う必要がある。

事業概要

〇スポーツ施設改修・整備
- ・市民プール　　塗装工事、ろ過装置改修工事（各設計含む）
  ピット内配管修繕
- ・日居城野運動公園　　スケートボード場コンクリート舗装
  陸上競技場公認改修
- ・スポーツキャンプむら　人工芝公認更新整備
- ・各種施設の高圧気中開閉器等交換業務（総合体育館、花巻球場、市民体育館、石鳥谷アイス
  アリーナ）
- ・その他スポーツ施設の整備補修
- ・スポーツ施設備品整備

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

施設名	合計額	件名	個別金額
総合体育館	864千円	高圧気中開閉器取替	864 千円
花巻球場	1，253千円	高圧気中開閉器等取替	1，253 千円
日居城野陸上競技場	4，018千円	陸上競技場公認改修	4，018 千円
スケートボード場	8，236千円	コンクリート舗装工事	8，236 千円
日居城野運動公園	3，132千円	噴水池ポンプ等修繕	1，674 千円
		駐車場拡張整備構想策定	972 千円
		支障木伐採	486 千円
市民プール	47，377千円	プールピット内配管修繕	4，644 千円
		ろ過装置改修･プール塗装工事設計	1，426 千円
		ろ過装置改修工事	27，540 千円
		プール塗装工事	13，767 千円
市民体育館	1，760千円	高圧気中開閉器等取替	1，760 千円
スポーツキャンプむら	3，044千円	フィールドテスト業務	690 千円
		人工芝公認更新整備	2，246 千円
		人工芝公認料	108 千円
石鳥谷アイスアリーナ	851千円	高圧気中開閉器取替	599 千円
		表題登記	252 千円
和田プール	1，139千円	ろ過装置交換	1，139 千円
東和海洋センター	889千円	艇庫機械警備機器撤去･再設置	225 千円
		艇庫衛生器具交換	211 千円
		ペアカヌー等備品購入	453 千円
合　計			72，563 千円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	104750	**田瀬湖ボート場環境整備事業**

総合計画		
分野	人づくり	
政策	3-4	スポーツの振興
施策	3	大規模スポーツ大会の開催

目的	スポーツ施設環境整備を行う。
対象	市民
意図	快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会等に備える。

事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること

〇スポーツ施設改修・整備
・田瀬湖ボート場 艇庫改修工事（工事監理含む）
倉庫新築設計業務

市民参画の有無 〔 〕

市民協働の形態						
		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定
		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	施設整備件数	件	計画		1	
			実績		1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			

	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①		人	目標			
			実績			
②		人	目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

成果指標の達成度						
		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析
（新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）

区分	評価項目	選択	選択肢	理由
目的妥当性	公共関与の妥当性	〇	妥当である	特色あるスポーツ施設である田瀬湖ボート場は、2020東京オリンピックボート競技事前合宿地に選ばれている国内でも評価が高いボート場であり、夏季は日本代表の強化合宿や関東圏からの大学合宿、県内高校の合宿など需要が大きいため、施設整備は必要である。
			見直し余地がある	
			妥当でない	
有効性	成果の向上余地	〇	向上余地がある	利用する競技団体や合宿を行う大学、高校、日本代表チームなどからのボート場（ボートコース、東和艇庫など）に対する意見を反映させることにより、練習環境を整備することで、今後もさらに利用人数の増加が図られるなど、成果向上の余地はある。
			向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		事業費の削減余地がある	利用団体等からの要望などを取り入れたうえ、必要最小限の整備を行っているが、今後も施設整備等が必要かどうか検討していくことから、事業費削減の余地はないものである。
			人件費の削減余地がある	
		〇	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		受益機会の見直し余地がある	ボート日本代表が合宿地として決定するなど国内有数のボート場として、全国から注目されており、花巻市民が誇れる財産価値がある。大会や合宿の誘致を図り、地域経済の活性化も期待されるため、市民等荒野受益も整備費の負担も適正である。
			費用負担の見直し余地がある	
		〇	適正である	

総合評価 …上記評価結果の総括

平成29年度は、ボート日本代表の2020東京オリンピック事前合宿及び大学高校等の合宿誘致に向けた田瀬湖ボート整備として、東和艇庫を改修し、合宿所としての機能向上を図った。ほかにモーターボートや国体で整備したコースブイ等を格納する倉庫を新築するための設計業務を行った。今後も競技団体や利用者の声を反映する形で整備を図る。

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

（単位：千円）

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	06	02	104750	**田瀬湖ボート場環境整備事業**

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			76,666		76,666
財源内訳	国・県		36,234		36,234
	地方債		37,600		37,600
	その他				
	一般財源		2,832		2,832

※特定財源の内訳

辺地債71,300（田瀬湖ボート場艇庫及び倉庫設計）

事業期間		単年度繰返		期間限定 〔平成 年度 ～ 平成 年度〕

部重点施策における目標

スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修や整備を図るとともに、平成２８年の岩手国体に向けた施設整備を行う必要がある。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果の向上を図るため、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致を積極的に行う必要がある。

事業概要

〇スポーツ施設改修・整備
・田瀬湖ボート場 艇庫改修工事（工事監理含む）
倉庫新築設計業務

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

H29事業費 （千円）

田瀬湖ボート場		(76,666)
	艇庫用途変更・設計	2,592
	艇庫改修工事監理	864
	艇庫改修工事(建築)	34,785
	艇庫改修工事(電気設備)	11,181
	艇庫改修工事(機械設備)	24,518
	B&G海洋センター倉庫新築設計	1,274
	Ｂ＆Ｇ海洋センター倉庫新築地質調査	1,404
	その他（建築確認手数料）	48
計		76,666

艇庫

用途変更等に伴う改修工事を行った。
敷地面積：9,764㎡ 延床面積：1,399㎡
改修期間：平成29年10月31日～平成30年3月28日
改修内容：①建築基準法及び消防法上の用途変更（簡易宿所営業）に伴う改修
防火間仕切り壁設置、エントランスホール上部トップライト交換（開閉式）
誘導灯設置、耐火ロックウール吹付
②合宿所として機能向上に係る改修
エアコン設置、畳の表替え、タイルカーペット敷き、ブラインド交換設置
照明器具ＬＥＤ化、浴室設置、換気設備設置、ガス給湯設備設置、
トイレ洋式化、洗濯室設置、冷蔵冷凍庫設置、調理ガスコンロ交換、階段修繕、
ポーチ人工芝敷、取り付け道路アスファルト舗装

倉庫

ボート及びボート場備品用倉庫を新築するため、地質調査及び設計業務を行った。
敷地面積：556.02㎡ 建築面積：186.26㎡ 延床面積：168.26㎡
施設構造：鉄骨造平屋